

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

国土交通大臣におかれましては、平成17年3月15日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の踏切事故後、緊急対策である新設歩道橋の整備並びに抜本対策である鉄道立体化につきまして格別のご配意を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成18年度連続立体交差事業の採択基準を拡充のうえ、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近を調査箇所として採択していただき、足立区は、鉄道立体化に向けた調査を行ってまいりました。

国土交通省にもご参画いただき検討を重ねた結果、鉄道立体化が技術的にも可能であり、また将来のまちづくりの面からも最適と判断し、昨年11月9日、足立区施行での連続立体交差事業新規着工準備採択要望書を提出いたしました。

昨年未発表されました平成19年度の政府予算案の中で、連続立体交差事業の新規着工準備箇所として竹ノ塚駅付近を位置付けていただき、重ねて御礼申し上げます。

足立区は、竹の塚鉄道立体化資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えるとともに、鉄道立体化にあわせてまちづくりを進めるため、あらためて地元代表者によるまちづくり連絡会を立ち上げました。

竹ノ塚駅周辺は、足立区にとって北部の地域拠点であり、鉄道高架化に併せて都市機能の更新、地域商業の活性化を図っていきたいと考えております。

つきましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に向け、区施行での連続立体交差事業に対し、今後とも財政面及び技術面における格段のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成19年2月5日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長
足立区長 鈴木恒年(印)

国土交通大臣 冬柴鐵三様